

令和6年度日本水産学会中部支部大会 シンポジウム
「地球の温暖化が中部地方の水産業に及ぼす影響」

日時：令和6年12月14日（土） 13:30～16:05

開催場所：三重大学生物資源学部棟 大講義室（対面のみ）

企画責任者：河村功一・一色 正・筒井直昭（三重大学）

参加費：無料（事前の申し込みの必要はなし）

プログラム

1. 気候危機：激増する異常気象の一因は海洋温暖化 13:30-14:00
立花義裕（三重大学生物資源学部）
2. クロマグロ加入量変動と海洋変動 14:00-14:30
植原量行（東海大学海洋学部）
3. 水産業における温暖化等環境変化の影響と適応策
～三重県の養殖業を中心に～ 14:30-15:00
水野知巳（三重県水産研究所）
4. 環境変動に対応した水産資源管理 15:00-15:30
金岩 稔（三重大学生物資源学部）
5. 総合討論 15:30-16:00
6. 閉会（支部長 河村功一） 16:00-16:05

企画の趣旨

現在、地球の温暖化は世界的な問題となっており、日本の海洋環境においても生物相の変化、資源量の減少と言った深刻な状況が生じています。本シンポジウムでは地球の温暖化が中部地方の水産業に与える影響について、様々な事例を紹介し、今後の水産業のありかたについて議論したいと思っております。